

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は2023年度公益財団法人日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

## 2. 練習について

- [1] 別紙の練習会場の使用日程、注意事項に基づき練習することができる。
- [2] 練習に際しては競技役員の指示に従い安全に留意して行うこと。

## 3. 招集について

- [1] 招集所は、第7ゲート入り口付近（100mスタート側）外側に設ける。
- [2] 招集開始時刻、完了時刻は競技開始時刻を基準として、下記の通りとする。

区分	種目	ラウンド	招集開始	招集完了
トラック競技	全種目	予選・決勝	30分前	15分前
跳躍競技	三段跳・走幅跳・走高跳	決勝	55分前	40分前
	棒高跳	決勝	100分前	80分前
投てき競技	砲丸投	決勝	45分前	30分前
	円盤投・やり投	決勝	55分前	40分前
	ハンマー投	決勝	65分前	50分前
混成競技	十種競技	両日の第1種目	30分前	15分前
	七種競技	第1日目の第1種目	30分前	15分前
		第2日目の第1種目	45分前	30分前

- [3] 混成競技の第2種目以降については混成競技者控え場所に待機し、トラック競技は競技開始15分前までに、フィールド競技は競技開始30分前までに、混成競技系の誘導で競技場所に集合する。混成競技の控え場所は男子が1205号室、女子は1204号室に設置する。

### [4] 招集の方法

- ① 競技者は招集所で競技役員の点呼を受けること。その際、アスリートビブス・スパイク・靴底の厚さ・商標の点検を受ける（商標については、競技会における広告および展示物に関する規定参照）。なお代理人による点呼は、認めない。
- ② 複数種目同時に出場する競技者は、第1種目の招集完了時刻30分前までに所定の「多項目同時出場届」（TICに用意）に記入し、TICに提出し、競技役員の指示に従う。
- ③ 棄権する場合は招集完了の30分前までに「欠場届」（TICに用意）をTICに提出する。また、招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなす。

## 4. アスリートビブスについて

- [1] アスリートビブスは交付された大きさのまま、胸・背に確実に付ける。但し、跳躍競技の競技者は胸または背中どちらか一方だけでもよい（規則記載通り）。
- [2] 1500mまでのトラック種目では、腰ナンバー標識を左右の腰後方に付ける。  
4×100mRは4走のみ。4×400mRは2～4走。（配布は招集所で行う）
- [3] 5000m、10000m、3000mSC、5000mWは、招集所で配布する特別ナンバーカードを胸背に、同じ番号の腰ナンバー標識を左右の腰後方に付ける。
- [4] 混成競技の最終種目（十種競技の1500m、七種競技の800m）では、胸にその時点での順位を示す特別ナンバーカード、背に交付されたアスリートビブス、左右の腰後方にレーンナンバーを示す腰ナンバー標識を付ける。

## 5. 競技場への入退場について

- [1] 競技場への入退場は、すべて競技役員の誘導による。
- [2] トラック競技出場者はフィニッシュライン到着後、競技者退場口より退場し13番ゲートの階段から観客席に戻る。
- [3] フィールド競技は競技終了後、競技役員の指示で近くの退場口から直接観客席に戻る。
- [4] トラック競技出場者（混成競技も含む）の衣類は、競技役員が退場口付近のテントに運搬する。但し、次の種目は除く。  
400m 800m 10000m 400mH 4×100mR（1～3走）  
4×400mR
- [5] 第1位から第3位までの入賞者は、競技役員の誘導によって入賞者控所に入る。第4位から第8位までの入賞者は、TICで賞状を受け取る。

## 6. 競技の抽選並びに番組編成について（レーン順・試技順）

- [1] トラック競技のレーン順・番号順と、フィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の競技者ナンバーの左に数字で示す。
- [2] トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びレーン順は、番組編成・記録速報所に印刷物で掲示する。
- [3] トラック競技で次のラウンド進出者を決める際に、同記録があったときは、0.001秒単位で着差判定をして進出者を決める。それでも決定できないときは同成績とし、抽選により進出者を決める（WA競技規則TR21）。

## 7. 競技について

- [1] トラック競技について
  - ① 競技運営上、以下の種目では、制限時間を越えた場合、次の周回に入れない。  
◇10000m 男子35分 女子43分 ◇5000mW 男子27分 女子32分
  - ② 5000m、10000m、5000mWの周回チェックはトランスポンダーを使用する。  
※トランスポンダー用の腰ナンバー標識（チップ入り）は左腰に付けること。
- [2] フィールド競技について
  - ① フィールド競技の競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従って行うこと。フィールド競技の練習は、原則2回とする。棒高跳の練習はゴムバーを使用する。
  - ② 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを置くことができる。使用するマーカーは現地において競技役員が渡す。
  - ③ 棒高跳の競技者は、あらかじめ支柱の位置を所定の「アップライト申告書」（TICに用意）に記入し、招集時に競技者係に提出すること。
  - ④ 男女の走幅跳と三段跳は1組をAピット、2組をBピットで行う。トップ8もピットを変えずに行う。
  - ⑤ 三段跳の踏切板の位置は、砂場から男子13m・女子10mとする。
  - ⑥ 走高跳・棒高跳決勝のバーの上げ方は、最後の一人になり、優勝が決まるまで次の通りとする（但し、気象状況等によっては審判長によりバーの上げ方を変更する場合もある）。また、第1位が同成績の場合、順位決定試技のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。

種目		練習	1	2	3	4	5	6	以降
走高跳	男子	1.80 2.00	1.90	1.95	2.00	2.03	2.06	2.09	競技者が最後の一人になり、優勝が決まるまで、3cmずつ上げる。
	女子	1.50 1.60	1.55	1.60	1.65	1.68	1.71	1.74	
棒高跳	男子	4.30 4.80	4.50	4.70	4.80	4.90	5.00	5.05	競技者が最後の一人になり、優勝が決まるまで、5cmずつ上げる。
	女子	2.80 3.30	3.00	3.20	3.40	3.50	3.60	3.65	

⑦ 混成競技の走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

種目		練習	1	2	3	4	5	6	以降
走高跳	男子	1.45 1.80	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.73	以後3cmずつ上げる。
	女子	1.25 1.50	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	
棒高跳	男子	2.60 3.60	2.80	3.00	3.20	3.40	3.50	3.55	以後5cmずつ上げる。

[3] リレー競技について

- ① リレーに出場するチームは、オーダー用紙（T I Cに用意）を各ラウンドの招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。
- ② リレー競技における使用マーカーは主催者が用意し、招集所にて配布する。但し、マーカーの除去については使用したチームが行うこと。

[4] 抗議について

- ① 抗議はWA 競技規則TR 8により、(大型スクリーン表示時刻を基準として) 同一日に次のラウンドがある場合は15分以内に、それ以外は30分以内にT I Cを通して、担当総務員に口頭で申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員を通して裁定を伝える。
- ② 審判長の裁定に不服の場合は、「上訴申立書」に記入の上、預託金10,000円を添え、審判長裁定から上記同様の決められた時間内にT I Cに申し出る。「上訴申立書」による抗議裁定の結果は、担当総務員を通して伝える。なお、預託金は抗議が却下された場合は返却しない。

[5] 助力について

- ① 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出ること。
- ② ビデオ装置、音楽プレーヤー、トランシーバー、携帯電話、スマートフォンもしくはそれらに類似した機器を競技場内に持ち込んではいならない。
- ③ 助言または映像機器の視聴は、競技運営並びに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で、コーチングエリアに限り認める。但し、映像機器類の手渡しや吊り下げ行為は認めない。

[6] その他

- ① 発雷等の荒天により、主催者が大会の継続を困難と判断した場合は競技を中断し、状況に応じて大会を中止とする場合もある。この場合は参加料の返金は行わないものとする。
- ② その他、参加者及び関係者に連絡する事項は神奈川陸上競技協会Webサイト等に掲載する。

## 8. 警告について

WA競技規則CR 18. 5の規定により、不当な行為をした競技者やリレーチームにイエローカード（YC）を提示し警告を与える。この場合他の種目との合算は無く、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。

同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以降の他の種目の出場は可能である。YC提示の累積は、当該種目のみに適応する。

## 9. 競技器具について

- [1] 競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものとする。但し、競技場に備え付けのない投てき用具は持ち込みを認める（日本陸連検定品に限る）。その際、希望者は競技開始時刻の120分前から70分前までに、T I Cに投てき用具を持参し、併せて「投てき器具貸上申請書」（T I Cに用意）を提出すること。投てき用具の返却はT I Cで行う。
- [2] 棒高跳のポールの検査は競技開始前に競技場所にて行う。

## 10. 競技用靴について

- [1] 競技場が全天候舗装であるため、スパイクのピンの数は11本以内、長さは9mm以内とする。  
但し、走高跳・やり投の場合は12mm以内とする。また、ピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- [2] トラック競技に出場する競技者は、招集所にて靴底の厚さの確認を受ける。靴底の厚さは以下の通りとする（WA競技規則TR5に則る）。
- 800m未満のトラック種目は20mm以内  
800m以上のトラック種目は25mm以内  
ただし、フィールド競技は除く。

## 11. 表彰について

- [1] 各種目の1位～3位までには賞状とメダルを、4位～8位の入賞者には、賞状を授与する。
- [2] 各種目1位～3位の入賞者（リレーを含む）は競技終了後、直ちに表彰を行うので競技役員の誘導のもと、正面スタンド下、表彰者控所に移動し待機すること。
- [3] 4位～8位の入賞者は、正式発表後30分を目安にTICに賞状を取りに来ること。

## 12. TICの業務及び提出書類について

	配布書類及び業務	提出及び受付場所	提出及び受付時間
1	記録証発行	TIC	随時
2	遺失物保管	TIC	随時
3	抗議申立（口頭）	TIC	正式記録発表後 15分以内(予選/準決) 30分以内(決勝)
4	上訴申立書（文書）	大会本部	審判長の裁定後 15分以内(予選/準決) 30分以内(決勝)
5	撮影許可書	TIC	競技場来場時
6	多種目同時出場届 欠場届 アップライト申告書 リレーオーダー用紙 投てき器具借上申請書	TIC	競技注意事項記載

## 13. ID制限について

以下の場所は受付時に配付したIDの提示がないと入場できない。

- ・補助競技場
- ・雨天練習場
- ・運動広場
- ・メインスタンド下エントランス内および各諸室
- ・招集所
- ・各競技エリア